

生活の楽しさを すべての人に

特定非営利活動法人
西東京自立支援センター
のご紹介



私たちについて



重度の障がいをお持ちの方はどこで暮らしていると思いますか？
入所施設・病院・家族と同居の方が大半です。

その中には、地域で、
自分の意思と選択と責任のもとに、
普通に(当たり前)暮らしたいと思っている方が多くいます。

そういう方に対して、生活全般の相談を受けたり、
ヘルパーを派遣したり、
そのヘルパーを養成・育成・フォローしたりするが私達の仕事です。

年単位で利用者さんの人生に付き合い、
徐々に変化していく生活を共に楽しむ。

人として利用者さんをサポートし、
とことん「人」にこだわって仕事をする。

それが私達の仕事のやりがいです。





会社情報

法人名

特定非営利活動法人 西東京自立支援センター

所在地

〒187-0003
東京都小平市花小金井南町一丁目14番2号

設立年

1999年

代表者

澤田 佳士

従業員数

160名（2025年8月）

事業内容

- [障害分野] 介助派遣事業
- ヘルパー養成研修事業
- 就労継続支援B型作業所
- 高齢福祉サービス

私たちのしていること



障害者の自立支援

地域で暮らしている重度の障害を持つ方に介助者を派遣しています。また介助者派遣以外にも、市役所等への交渉や障害者の権利擁護も行なっています。



ヘルパー養成研修事業

重度訪問介護従事者養成研修、介護職員初任者研修、喀痰吸引研修など資格取得のための研修を、障害当事者に講師を依頼し、実施しています。

代表挨拶

私たちは、「生活の楽しさを全ての人に」という理念のもと、障害を持つ方の自立支援を行っています。「何かをやってあげる」という従来の介護イメージとは異なり、私たちは利用者さんが主体となって生活できる支援を目指しています。

生活というものは、本来楽しいものです。好きな場所へ行ったり、好きなものを食べたり、好きな人と過ごしたり。しかし、自立しても、その楽しさをなかなか見出せない利用者さんもいます。

私たちは「人としての当たり前前の日常の楽しさ」を、利用者さんと一緒に共有し、楽しめる方を求めています。

この支援を実現するには、まず人として対等に利用者さんと接する姿勢が重要です。利用者さんに寄り添う姿勢がなければ、真に対等な関係は築けません。私たちは**障害者と人として対等に接することができ、相手の価値観に対し想いを馳せることができる方**を求めています。

その先にこそ、「生活の楽しさを全ての人に」という私たちの理念を実現できると思います。



代表
澤田 佳士

Mission

Vision

Value



誰もが自分らしく生きられる社会を創る

私たちは、単に介助サービスを提供する事業所ではありません。

「重い障害があるから」と、施設や親元での暮らしが当たり前になっている現状を変えたい。

「介助者がいないから」と、自立ややりたいことを諦めてしまう人をなくしたい。

「生活の楽しさをすべての人に」という理念を胸に、私たちは以下の課題に挑みます。

- 利用者さんの「自己選択」「自己決定」「自己責任」を尊重し、真の自立を支援します。
- 介助者不足の解消に貢献し、誰もがプロフェッショナルとして、安心して長く働ける魅力的な職場を創り続けます。
- 医療的ケアが必要な方、重度の知的障害を持つ方など、他事業所では難しい介助や自立支援にも対応できる専門性を追求します。

私たちは、このミッションを達成することで、障害の有無に関わらず、誰もが自分らしく生きられる社会の実現に貢献します。

障害者にまつわる課題

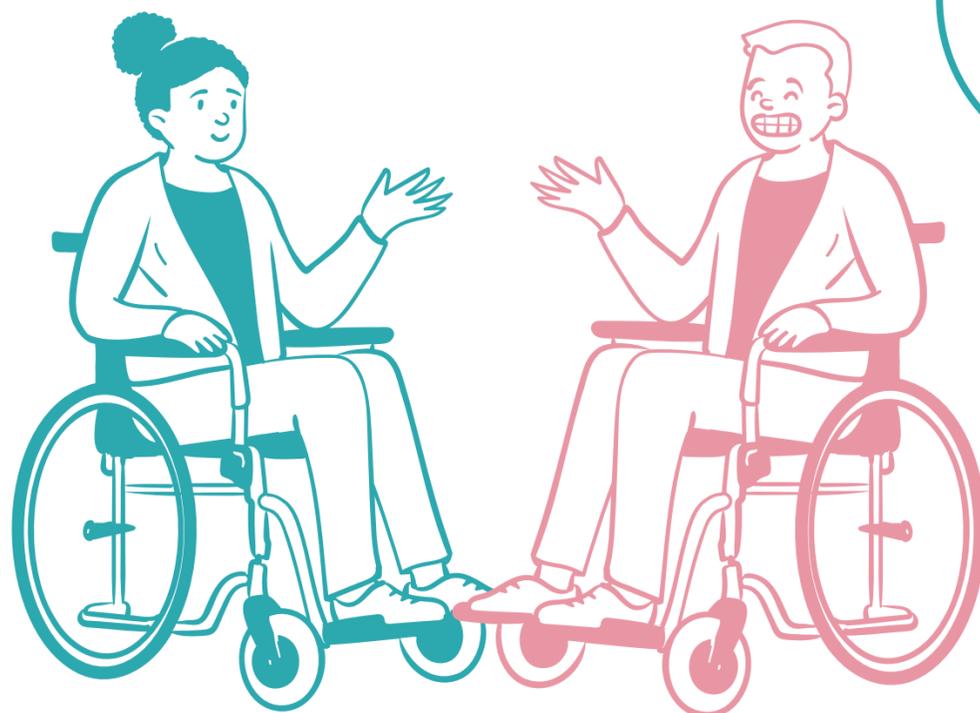
差別・バリア

障害者主体の
事業所が少ない

介助者不足

自立を希望する障害者の数に
対し、介助者が足りていない

自分らしく生きるのが
困難



施設や親元で暮らすのが
当たり前

医療的ケアなど
高度な介助に対応できる
事業所が少ない

障害があっても自分らしく暮らせる社会へ

呼吸器を使っている、胃瘻が必要でも、体が全く動かなくてもどんなに重度な障害を持つ方でも、制度的には、地域社会で暮らすことが可能な社会になりました。バリアフリーやノーマライゼーションという言葉も浸透してきました。

けれどもまだまだ、制度にも街にも障害者が暮らしにくいと感じるバリアは存在し、残念ながら差別もあります。

地域で暮らす障害者がもっと増え、障害者が地域でもっと活動するようになれば、またそうした方に関わる健常者が増えれば、そうしたバリアや差別はなくなると信じています。

私たちは、障害の有無で人生の選択肢が狭まることのない、どんなに重度な障害を持つ方でも、地域社会で『いち市民』として当たり前で暮らす未来を実現します。

障害者主体は介助者があってこそ

西東京自立支援センターでは、利用者の生活を管理するのではなく、利用者の「自己選択」「自己決定」「自己責任」を阻害しない、利用者の想いを尊重した介助をしています。

そうした介助を実現するには、介助者も理念に沿ったプロフェッショナルな支援者であることが求められます。そのため、西東京自立支援センターでは、研修や現場でのサポート体制を手厚く整えています。研修や資格取得を通し、専門知識を学び合い、現場で起こった問題と真摯に向き合い、事業所全体で利用者だけでなく介助者を支え、常に質の高い介助を提供できるよう努めています。

利用者の生活は介助者がいてこそ成り立ちます。高い技術と経験を培った介助者は、利用者にとっても事業所にとっても大切な存在です。ですから、末永く安心して働きつづけていただけるよう、西東京自立支援センターは働きやすい職場づくりを大切にしています。利用者も介助者も、誰もが望む生活を実現できるよう、一人ひとりの人生に寄り添い伴走します。

私たちの3つの強み



障害者主体の支援

創業当初より**代表自身が障害者**であるため、利用者さんの「こう生きたい」という気持ちに寄り添った、主体性を尊重する支援を徹底しています。



先駆者としての実績

制度が未熟だった時代から、市役所や鉄道会社を相手に**権利擁護の運動を展開**し、障害を持つ方が**地域で暮らしやすい社会づくりに貢献**してきました。



30年の経験が育んだ確かなノウハウ

他事業所では難しい**医療的ケアが必要な方**や、**重度の知的障害を持つ方**の介助にも対応できる、確かなスキルとノウハウが私たちの財産です。

創業から今日、そして未来へ

沿革

母体団体発足

1996

重度の身体障害を持つ方へのヘルパー派遣開始

行政と交渉し、小平市・小金井市で24時間の介護保障を実現。自立した利用者さんの第一号が誕生しました



1999

西東京自立支援センターを設立

知的・精神障害をお持ちの方へのヘルパー派遣を開始



2003

自立した利用者さんが10名に到達



2008

小平市で重度知的障害者の24時間介護保障を実現



創業から今日、そして未来へ

沿革



事業拡大に伴い、自社建物を建設し、移転



自立した利用者さんが30名に到達予定！！

より働きやすい職場を目指して「くるみん」「エルボシ」の取得に向けて奮闘中！

2012

自立した利用者さんが20名に到達



2017

2018

就労継続支援B型
作業所開所

2023

東京都より
「TOKYO働きやすい福祉の職場宣言事業所」に認定

2025



これが、私たちの仕事です

創業以来約30年、約30名の障害を持つ方の自立をサポートし、延べ80名以上の利用者さんと人生をともにしてきました。現在も55名の方が地域で自分らしい生活を送れるようサポートをしています。2022年1名、2024年には2名の方が自立を果たし、2025年も1名の方が地域での新しい生活を始める予定です。

私たちの仕事は、利用者さんの『生活』、そして『人生』そのものに深く関わる仕事です。ときには意見がぶつかったり、悩んだり、壁にぶつかることもあるかもしれませんが、だからこそ『自分の成長』や『利用者さんとの信頼関係』、そして『人に役立つ喜び』をダイレクトに感じるすることができます。

利用者さんと共に歳を重ね、一緒に過ごした思い出話に花を咲かせる温かな瞬間こそが、この仕事のやりがいです。

ずっと親元や施設で暮らしてきた方が、地域で一人暮らしを始める――。それは決して容易なことではありません。だからこそ、その方の『自己実現』というかけがえのない瞬間に立ち会えることが、私たちの一番の喜びです。

これからも、重い障害があっても地域で暮らしたいと願う方の思いに応え続けます。なぜなら、重度の障害を持つ方が暮らしやすい地域社会は、きっと誰もが暮らしやすい地域社会だからです。

私たちは、そんな未来を目指して歩み続けます。

スタッフ紹介



こんな人が働いています

従業員数

160名

男女比



健常者スタッフ 障害者スタッフ

154名 6名

平均年齢 38.8才

20代以下	19%
30代	37%
40代	29%
50代以上	17%

介護業界の平均年齢50歳前後

平均勤続年数 9年4ヶ月

1年未満	13%
1~5年未満	25%
5~10年未満	23%
10~20年	23%
20年以上	15%

介護業界の平均勤続年数が6~7年

介護福祉士 資格保有者 43%

重度訪問介護	94%
初任者研修・ヘルパー2級	54%
介護福祉士	43%
ケアマネージャー	5%

訪問介護事業所の介護福祉士の割合は平均で30%台前半

ベテランの
先輩スタッフに**有休の使い方**を聞いてみた！



入社6年目 Nさん

会計事務所から転職！2児のパパです。家族サービスの家族旅行を楽しんでいます！子どもたちの成長を実感するひとときです。



入社7年目 Tさん

居酒屋の接客職から転職！3歳の男のママです。子供を夫に託し、推しのモー娘。のライブに行くのが息抜きになっています！



入社7年目 Sさん

客業職から転職！昨年長年付き合った彼女とついでに入籍！その時沖縄の海に潜りました。先日は妻と一緒に舞台も見に行きました！

ベテランの先輩スタッフに**入社理由**を聞いてみた！



入社6年目 Nさん

働き方、待遇が魅力でした

会計事務所で働いていましたが、拘束時間が長くて、忙しい時期だと6時に家を出て終電で帰宅みたいな日もあり、2人目が生まれるのを前に、家のこと何もできないと感じ転職活動を開始。直行直帰で、仕事時間がしっかり決まっていた、給与面や保証も魅力でした。バイトで接客や営業もやっていたので、人と人の仕事もそんなに苦じゃないかなと思って応募し入社しました。



入社7年目 Tさん

介助者という仕事に興味を持ち、理念に惹かれました

飲食店でずっと働いていて、お客さんと話すのが好きでした。ただ仕事が忙しく、もう少し人と関わる仕事もいいなと思い転職活動を開始。お店に障害を持つ車椅子の方が来店し、一緒に来ている人は何だろうと思っていましたが転職活動中に、当社の求人を見かけて、一緒に来ていた人は「介助者」だったのか！と興味を持ち、理念が素晴らしいなと思って応募し入社しました。



入社7年目 Sさん

面接の雰囲気がよくて入社しました

営業の前職を辞めた時に、カラオケ店でアルバイトしていました。そこに目の不自由な車椅子の方がよく来店していたのですが、求人媒体を見ていたときに当社の求人を見かけて、障害者に関わる仕事に興味を持ちました。初めは面接の練習と思って面接に行きましたが、面接官達（今の上司）の雰囲気がすごく良くて、「ここで頑張ってみようかな」と思い入社しました。

ベテランの先輩スタッフにやりがいも聞いてみた！



入社6年目 Nさん

自分の「気づき」で、利用者さんの日常が良くなる面白さがあります

利用者さんに「これ古くなっていますよ」とお伝えしたら、次の週末たとき見たら新しくなって、小さなことだけど、自分の言ったことを参考にしてもらえて、やる気につながりました。自分が利用者さんに提案したことが、月末連絡で他の介助者にも共有されてやり方が統一されたことがありました。気づいたことは小さなことでも、利用者さんの生活がより豊かになることを感じるのがやりがいになっています。



入社7年目 Tさん

利用者さんの「やりたい」を支えられていることが喜びです

親元や施設にいると制限があったり自分の思うような生活はできない、という話を聞く中で、利用者さんのやりたい生活、丁寧な暮らしを当たり前にする、日常の中でそれができているというのは素晴らしいなと感じています。利用者さんの好きなアーティストのライブに同行させていただいて、利用者さんの新たな一面が見られたり、私も同行させてもらって嬉しく楽しかったです！



入社7年目 Sさん

自分の成長は、いつも利用者さんが気づかせてくれます

久しぶりに入った利用者さんから「前より洗髪上手くなったね」「抱えが安定したね」と褒めていただきました。色々な利用者さんに入ることで経験が生かされていたんだなと思い、自分の成長に気づいた時にやりがいを感じます。また自分が提案したことが利用者さんの習慣になったことがあり、自分が積極的に関わったことで利用者さんの暮らしが良くなることに喜びとやりがいを感じます。

ベテランの

先輩スタッフにキャリアアップも聞いてみた！



入社6年目 Nさん

介助者としてレベルアップできた実感があります

最初はコミュニケーション取りやすい利用者さんに入っていましたが、初任者研修や介護福祉士の資格取得に合わせて、知的障害を持つ利用者さんを担当したり、利用者さんの支援メンバーを担うようになり、介助者としてレベルアップできた実感があります。難しい現場や事務・研修講師などの新しい仕事も任せてもらえたことにやりがいを感じ、期待に応えられるよう頑張っています。



入社7年目 Tさん

仕事の幅の広がりが楽しいです

入社3年目に産休育休を取得し、息子が1歳の時に復帰しました。今は介助を中心に事務仕事、研修講師、コーディネーター（特定の利用者さんの担当者）もしています。復帰して最初の1年目は、息子が熱で保育園を休むことも多く減入りましたが、「申し訳なく思わなくて大丈夫だよ」と声かけていただきました。事務所に来る機会も増え、仕事の幅が広がったのは楽しく、やりがいに繋がっています。



入社7年目 Sさん

プレッシャーが成長の糧、新しいことにも挑戦したいです

事務の仕事をはじめた時は、介助の仕事と異なるので息抜きになるなと思っていましたが、今はプレッシャーに感じています。けど、今やらせていただいている事務の仕事は難しいけれど、慣れたら新しいことにも挑戦したいです。事務仕事を担当するようになり事務所に来る機会が増えましたが、事務所の雰囲気は変わらず印象が良く、「働きやすい環境だな」って再確認しました。

交流・イベント

利用者さん、従業員、従業員のご家族を労う場として、季節ごとにイベントを開催しています！



BBQ



秋祭り



忘年会



生活支援スタッフ のお仕事





生活支援スタッフ とは

生活支援スタッフは、地域で暮らす障害のある方の『自立生活を支えるパートナー』です。

利用者さんのお宅を訪問し、外出や料理、入浴、着替えなど、利用者さんの指示に沿って日常生活の様々な場面をサポートします。

当社では同性介助、一日1人訪問が基本。利用者さんとじっくり向き合い、一人ひとりの望む暮らしに寄り添ういます。

施設のように複数の方を同時に担当したり、1日に何件も訪問したりすることはありません。あなたのペースで、利用者さんと深い信頼関係を築いていけるのが、この仕事の大きな魅力です。

どんな方を サポートするの？

当センターの利用者さんは重度の障害をもち、365日、24時間または長時間、介助の手を必要としている方がほとんどです。利用者さんの障害もバックグラウンドも様々です。

生まれた時の脳障害により、ずっと障害者として生きてきた方

筋肉が萎縮する進行性の難病によって、障害者になった方

健常者として生きてきたけれど、事故によって障害者になった方

知的（脳）の障害を持った方



利用者さんの暮らし

利用者さんのほとんどが、車椅子で生活をし、賃貸のアパートで生活しています。女性の利用者さんは女性の介助スタッフが担当し、男性の利用者さんは男性の介助スタッフが担当します。

ご自身の障害や体に合わせて、また介助者の負担を軽減するために、電動ベットや電動リフトなどの福祉用具を使って生活しています。ベッドから車椅子などの移乗は電動リフトを使うので、体力のない女性でも安心してお仕事することが出来ます。

お仕事をしている方、お出かけが好きな方、インドアの方、映画が好きな方、野球が好きな方、推し活をしている方、とさまざまなので、暮らし方もみなさんそれぞれです。生活支援スタッフのお仕事は、お一人お一人の希望に沿った、暮らしのお手伝いをすることです。



日勤のお仕事 (例)

出勤

洗濯機を回しながら
床の掃除機がけ

9:00

洗濯物を干す・
トイレ介助

11:30

利用者さんの訪問リハビリ
リハビリ中に昼食の買い物

12:00

一緒にTV鑑賞しながら
昼食の介助

14:00

食後の片付け、
トイレ介助、外出の用意

15:00

利用者さんと外出、
買い物・おやつ介助

16:00

帰宅後の片付け・見守り

17:00

お疲れさまでした

帰宅

実績記入、夕勤の介助
スタッフと交代



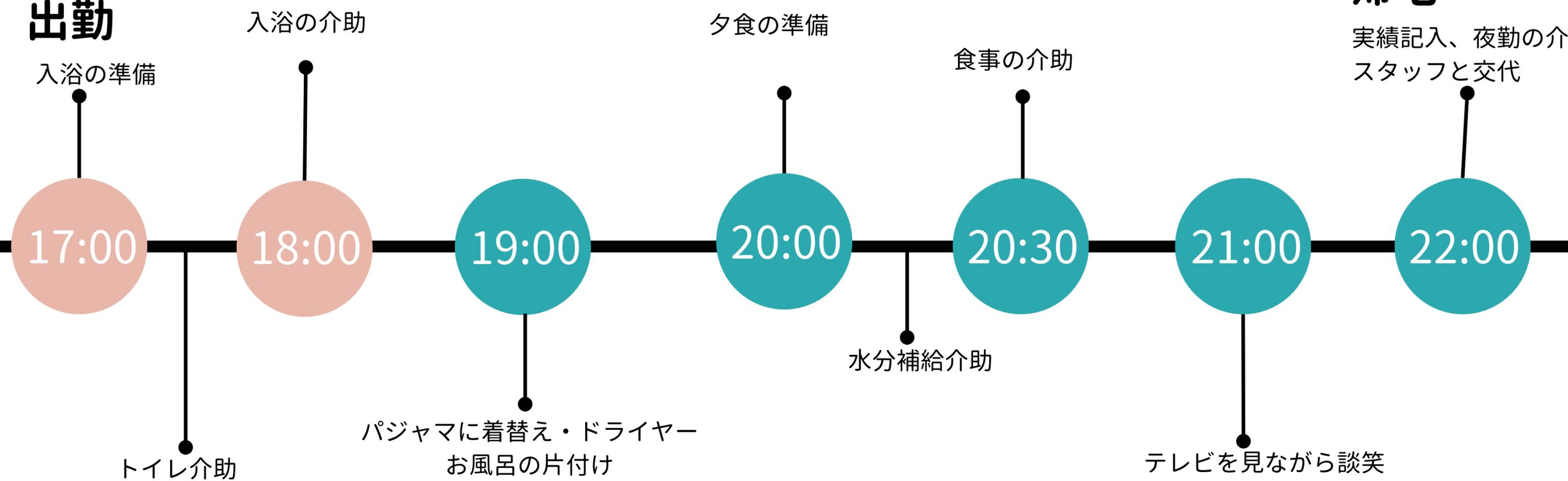
夕勤のお仕事 (例)

お疲れさまでした

帰宅

実績記入、夜勤の介助
スタッフと交代

出勤



夜勤のお仕事 (例)

出勤

一緒にTV鑑賞、
水分補給介助



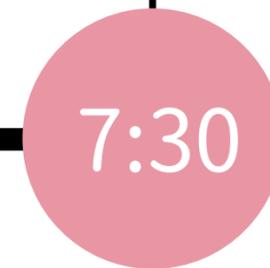
就寝時の介助、
利用者さん就寝



水分補給
体位交換



利用者起床
朝食の準備
食事介助



帰宅

実績記入、
日勤の介助スタッフ
と交代して退勤

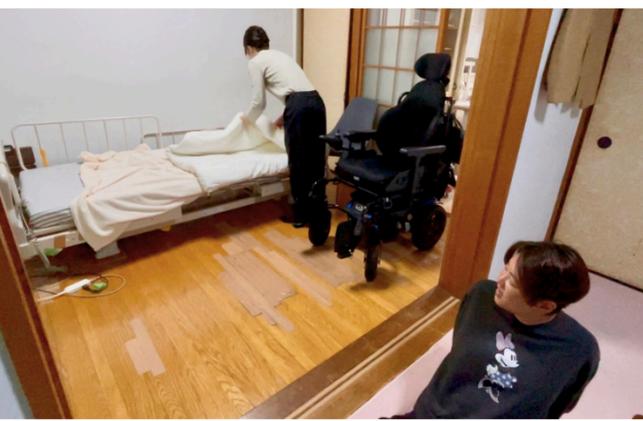


ベッドメイク
トイレ介助

介助者就寝

介助者起床・
介助者の布団片付け

お疲れさまでした



働 く 環 境





T O K Y O

働きやすい福祉の職場宣言事業所に 認定されています



TOKYO働きやすい福祉の職場宣言事業所とは、東京都独自の「働きやすい福祉の職場ガイドライン」を踏まえ、人材育成、キャリアアップ、ライフワークバランス等、働く人にやさしい職場づくりに取り組んでいる福祉事業所です。

当センターでは、障害者・児分野と高齢者分野の6つの事業で認定の申請を行い、認定に必要な**17項目全てにおいて「達成率100%」**で認定を受けることができました。

働き始めも手厚くサポート

新生活を金銭面でも、不安がいっぱいの働き始めもサポートします

入社祝い金20万円 引越し助成金上限10万円

今後のご活躍に期待し、入社を祝って入社祝い金を贈呈させていただいています。

また地方からの上京やご実家からの独り立ちを応援し、引越しにかかった費用も助成いたします。*

*自宅から事務所までの移動時間が1時間30分以上のところに住んでいて、事務所から30分以内の場所に引っ越しを伴う転職の場合

奨学金返済支援手当

当事業所では東京都が定める助成金を活用し、新社会人には負担の大きい奨学金の返済を支援しています。月5万円を上限に**毎月の返済額と同額を給与に上乗せします**

累計で23名と年々利用者が増えており、「奨学金の負担が減って生活に余裕ができた」という声も多く上がっています

働き始めを手厚くサポート

先輩スタッフのサポートと研修

入社後は、障害当事者スタッフによる座学や、先輩スタッフによる実技、利用者宅訪問を含めた3日間の採用時研修を受講し、「重度訪問介護」という資格を取得します。

仕事初めは、先輩スタッフが同行し、仕事の流れや介助の方法を一緒に確認します。独り立ち後は、利用者さんが指示を出し、介助内容を教えてくれます。もし介助がうまくできない等悩みが発生した場合は、先輩スタッフと個別研修や面談を実施し、習得具合に併せて現場でもサポートします。

*研修や面談の期間や頻度は担当する利用者さんによります



研修制度

従業員研修

新人対象の研修

採用時研修

資格を取得するために座学、また実践に向けた実技、利用者宅訪問を含めた3日間の研修をします。

新人研修

勤続半年程度の方を対象に、現場の悩みや理念の再確認など個々に合わせた研修を実施

全体研修

緊急時対応研修

配信型緊急時対応研修

感染症対策研修

虐待防止研修

ステップアップ研修

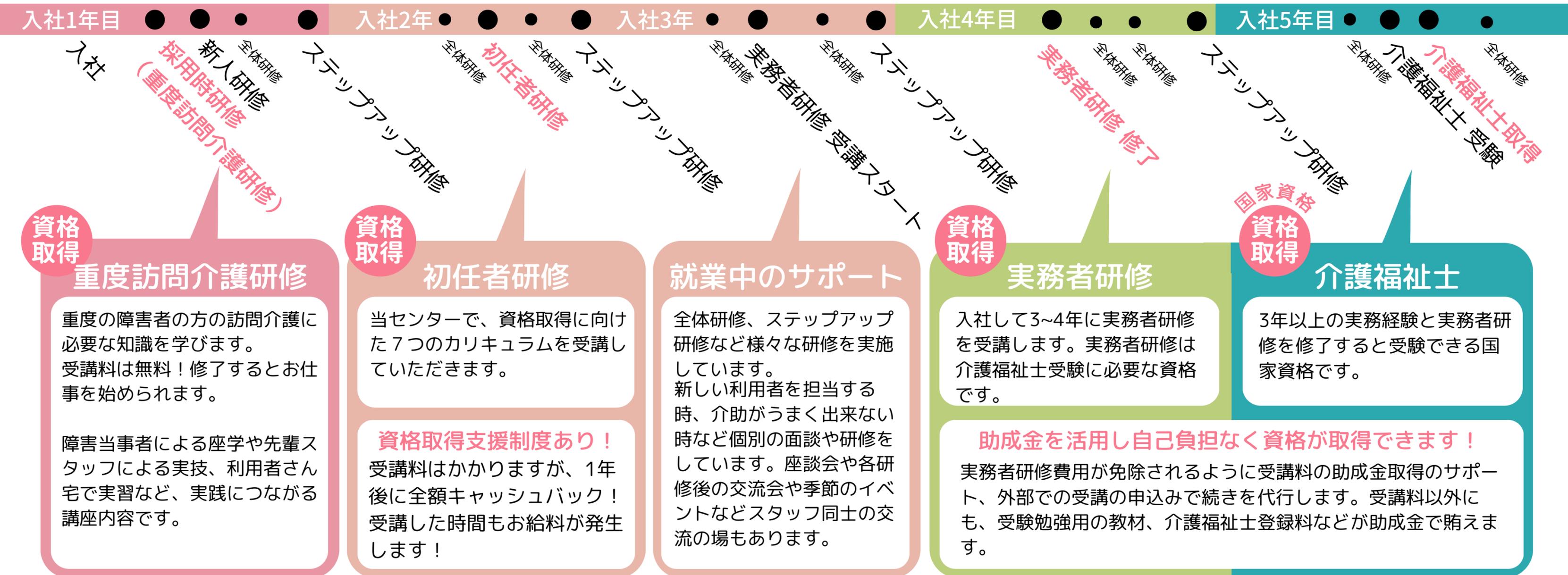
個別研修・面談

仕事始めは、先輩スタッフが同行。独り立ち後も、介助がうまくできない等悩みが発生した場合は、個別研修や面談を実施し、習得具合に併せて現場でもサポートします

座談会

未経験者でも介助のプロになれる仕組み

当センターは介護が未経験者で入職する方がほとんどです。
未経験の方でも介助のエキスパートになれる・ステップアップできる仕組み、サポート体制を整えています！



給与制度・評価制度

給与制度

●月収例

34万1500円（25歳／入職1年／無資格・未経験）

└基本給27.9万円＋奨学金返済手当3.96万円＋報告手当500円
＋報告書作成手当1000円＋住宅手当1万円＋交通費1.14万円

※処遇改善加算は基本給に反映されています

●年収例

平均420万円／入職1年

平均466万円／入職3年

※中には入職2年目からで500万円以上の方もいらっしゃいます。

●昇給・昇格

昇給年1回、評価に応じて昇格のチャンスがあります。

評価制度

- 勤務態度（利用者に対する関心・誠意をもっているか）
- 向上心（課題のクリアやスキルの向上に積極的であるか）
- 貢献度（協力的である）
- 勤怠（遅刻欠勤の状況）

などの勤務姿勢を9つの項目とS～Cの5段階の評価基準で評価を行います。

半期に一度、上長による面談を行い、利用者さんの声も反映して多角的に評価します。

福利厚生

安心して働ける環境

当センターでは、「スタッフ一人ひとりの人生を大切にする」という理念のもと、スタッフが安心して働ける環境を整えています。

有給休暇

承認率 **100%**

残業時間

平均 **10** 時間以下
残業代は別途全額支給

柔軟な働き方

事情に応じて、時短勤務、夜勤特化、日勤中心などご相談可能です。

休暇制度

産前産後休暇、育児休業、看護・介護休暇、生理休暇、慶弔休暇

- 社会保険（健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険）
- 退職金制度
- 福利厚生
 - 入社祝い金 20万円
 - 引越し助成金 10万円上限
 - 昇給（年1回）
 - 賞与（年3回・人事評価による）
 - 交通費支給（上限15000円/月）
 - 住宅手当
 - 扶養手当（子ども3人まで、1人当たり月5000円支給）
 - 時間外手当
 - 退職金制度
 - 資格取得支援制度（初任者研修、介護福祉士など）
 - 資格手当（介護福祉士、ケアマネ）
 - 服装自由
 - 本部スタッフへの登用制度あり
 - 奨学金返済支援手当（毎月返済している金額と同等額）



育児との両立を応援します

育児休業・短時間勤務制度

法律に定められた制度に加え、希望に応じた柔軟な勤務体制で育児と両立しやすい環境です。

子育て中のスタッフが多数活躍中

職場全体で子育てへの理解があるため、子どもの急な発熱などにも柔軟に対応。安心して相談できる風土が根付いています。

女性スタッフ育休取得率100%

累計22名の女性スタッフが育児休業取得、取得率は100%、職場復帰率もほぼ100%です。2～3回目取得者も！

男性スタッフも累計8名が取得しています。2回目取得者も！

採用情報





募集要項

募集職種

生活支援スタッフ（正社員）

勤務地

東京都小平市周辺の市区に暮らす利用者さんのお宅
直行直帰のお仕事です

勤務時間

1ヶ月単位の固定シフト（曜日時間固定・利用者固定）

- 日中のサポート 9:00~16:00、9:00~19:00
- 夜間・早朝のサポート 19:00~9:00、22:00~9:00
- 外出支援や身体介助 7:00~23:00の間で3~8h勤務

給与

月給279,000~327,000円(各種手当込み)

昇給・賞与

昇給年1回、賞与3回（2024年度）

応募要件

無資格・未経験可、夜勤・夕勤に入れる方

私たちの求めている方

私たちは、利用者さんの指示に沿って、調理、外出、入浴など、日常生活の様々な場면을サポートします。利用者さんの生活はお一人お一人異なり、生活スタイルや家事のやり方、介助の仕方はそれぞれ異なります。**重要なのは、利用者さんのやり方、決めたことを尊重すること。**介助者自身の価値観ややり方を押し付けてはいけません。「良かれ」と思った行動でも、利用者さんの不快感につながるかもしれません。

私たちは自分の価値観に囚われず、相手の価値観を尊重し、真摯に向き合える方を求めています。

この仕事に向いている方

- 相手の価値観を尊重できる方
- 人と関わる仕事が好きな方
- 当センターの考えに共感できる方
- 社会貢献性の高い仕事がしたい方
- 福祉に興味がある方
- 人の役に立ちたい方

この仕事に向いていない方

利用者1人ひとりの生活スタイルや要望に沿ったサポートを行います。時には効率が悪いと感じる対応を求められることもあります。

- 自分のやり方を優先してしまいがちな方
- スケジュールの決まった業務がしたい方には不向きなお仕事です。

選考プロセス

step 1

書類選考

履歴書は、あなたを知る大事な手段。ぜひ詳細に書いていただき、あなた自身について教えてください。

step 2

面接

人物重視・意欲重視の選考です！フランクにお話ができればと思います。「実際の働き方は？」「教育体制について詳しく知りたい」といった質問にもお答えします。遠慮なくご相談ください。

step 3

内定

ご応募から内定までは1~2週間以内、面接日・ご入職日はご相談ください！

私たちに興味を持ってくれたあなたへ

「福祉の仕事に興味がある」「人の役に立ちたい」「障害者に関わる仕事をしたい」
そんな想いでこの資料をご覧になっているのではないのでしょうか。

「福祉の仕事」に不安を感じている人いらっしゃると思います。
障害者の一人暮らしや介助の仕事に興味あるけど、
「自分にできるか心配、自信ない」と感じているかもしれません。

が、固く考えず、ぜひお話をしましょう。

私たちの仕事は一般的な「介護の仕事」とは異なっています。
利用者さんと一緒に利用者さんの生活を作っていく、とても「クリエイティブな仕事」です。
あなたと一緒に、利用者さんの人生を作り、
そして、あなたの人生をより豊かにするパートナーでありたいと願っています。

まずは、あなたの想いをお聞かせいただけませんか。
ご応募を心よりお待ちしております。